

ellipse

[エリプス]

楕円 (ellipse) には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心 (焦点) となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

REPORT

第2回 お茶の水フェスティバルが開催されました!



ワ・タ・シ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、「週刊朝日」誌にて「山藤草二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

就職セミナー
人とお酒のいい関係

ESSAY

科学史散歩1
～永井荷風と西洋紀聞～

INFORMATION

お茶の水女子大学 イベント情報
微音祭のお知らせ
事務局よりお知らせ

特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

子育ては一段落。大人の女性として
自分に磨きをかけたい40代を応援します!



- ファッション
- 美容
- 健康
- ダイエット
- 料理
- マネー
- 対人関係
- 40代の生き方
- 人間ドキュメント
- ETC...

毎号豊富なコンテンツと
綿密な取材、
わかりやすい内容で人気!!

my40's 主婦の友社発行の
40代女性向け月刊誌 毎月1日発行 620円

編集長・柴本淑子 (昭和50年地理学科卒業)
お茶大の卒業生が編集長を務める雑誌です。どうぞお買い求めください。
ホームページ <http://www.my40web.com>
編集部 ☎03-3518-0777 ☎03-3518-0778

ヤマザキ

www.yamazakipan.co.jp/

レーズン
好評発売中



耳までソフトで、ほんのり甘い。超芳醇

全国の書店で
お求めください

モノも情報もありすぎる現代だからこそ、
健康でシンプルな食を提案します。
絵本のように楽しみながら、
この一冊で大切なことがおいしくわかる!



食の素描
7つの提案+素のままレシピ80
大村直己 著

学習研究社 / 128頁 / 定価1260円
イラスト ハギワラトシコ
ISBN4-05-402311-8



ほねぶとネット 子どもの食と育を考える意見交流サイト
<http://homepage2.nifty.com/shokuiku/>

著者 大村直己 おおむらなおみ

昭和52年お茶の水女子大学家政学部食物学科卒。商品科学研究所において食に関する調査研究に数多く携わった後、食育コーディネーターとして独立。主として子どもの食育について執筆、講演、TV出演。「ほねぶとネット」を主宰。

編集後記

表紙の絵が変わりました。今号のために、深津知寿さんに描き起こしてもらいました。某先生によるエッセイも始まりました。今後も皆様からのご協力を得て、誌面を充実させてまいります。また、皆様のネットワークを広げる一助になればと考えています。ご意見などは是非お寄せください。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は1月発行です。約5,000部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

TacoTime

WE
MAKE
IT
FRESH
EVERYDAY

SINCE 1960



タコタイムはアメリカ・カナダに500店舗を展開する
タコス、メキシカンフードのトップリーダーです。

メキシコ生まれ・アメリカ育ちのタコス。
その美味しさ、楽しさを手軽に味わって頂ける様
店舗開発や、トルティヤの販売などに
取り組んでおります。
学園祭・各種行事などタコスに関する一切を
私どもにお申し付けください。

株式会社タコタイム tel 03 3700-1421
fax 03 3700-1495

店舗のご案内
テックスメクスレストラン
タコタイムグリーン子玉川店
tel 03-3700-9008
ファーストフードスタイル
タコタイム南千住LaLaTeras店
tel 03-3803-1242

<http://www.tacotime.co.jp>



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分
地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分
都バス
大塚2丁目バス停すぐ

第2回 お茶の水フェスティバルが 開催されました！

2004年6月12日、お茶の水女子大学で第2回目のお茶の水フェスティバルが開催され、昨年を上回る盛り上がりとなりました。今年もゆかりの台風接近。雨の日に結んだ絆に思い至ったことでした。講演・パネルディスカッション・チャリティコンサート・展示・懇親会と盛り多い一日でした。

今年で第2回目となったお茶の水フェスティバルには、「読売・お茶大 女性アカデミア21」が登場しました。これは読売新聞社とお茶の水女子大学が共同して創設したもので、今後毎年、社会の「なぜ」を学びたい女性のためのシンポジウムを開催します。今回は「現代女性の人生設計とその背後にある心理」をテーマに、微音堂での講演と、パネルディスカッションが催されました。その他、チャリティコンサート、お茶の水女子大学所蔵の歴史的資料の展示、その後の懇親会と、充実したイベントとなりました。

チャリティコンサート・講演会・パネルディスカッション

開会を待つ微音堂内にはトロンボーンやホルンの楽音が流れて、まずは、附属高校アフガンボランティアによるチャリティコンサートの会場として聴衆を迎えました。

冒頭、読売新聞調査研究本部の谷口総務から「アカデミア21」創設の意図についての説明を伴った簡潔な挨拶をいただき、ついで、お茶大の本田学長が四つの事柄として、附属高校生徒によるアフガン支援チャリティコンサートの紹介と寄付の呼びかけ、お茶大の歴史資料展示の紹介、微音堂の説明、更にもう一つは、お茶の水学術事業会の紹介と加入の呼びかけ、をされました。その中にはフェスティバル開催の裏方として当事業会が大いに尽力したとの労いの言葉があり、われわれスタッフ一同、連日の疲れも吹っ飛ばすような晴れがましさでした。



小倉千加子氏

続いて、小倉千加子氏の基調講演。小倉氏は、社会と女性行動の関連に詳しい心理学者、評論家として知られる方です。「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル・・・社会と文学に見る迷い・決断・戦略」の演題で、今日只今のレアな状況について舌鋒鋭く解析されると、場内は、大きな笑いと共感共鳴、そして深い思索に包まれました。「歴史は理念によっては変わらず何か皮肉な逆説によって変わっていくもの」なので「将来女性の就労状況は好くなり、さまざまな生産に携わる本来の自己実現に変わっていくだろう、今はその過渡期である」という予言はちょっと怖くもあり、ほっと明るいものも萌す思いがしました。自らを律している思いこみ



アフガン支援チャリティコンサート

や甘えをめぐり去ったとき、いわゆる「結婚願望」に対する本当の答えが出るだろうと締めくくられました。

再び音楽が流れるコンサート会場の中でしばし休憩の後、



パネルディスカッション

パネルディスカッションが始まりました。壇上には、菅聡子氏（日本文学）・竹村和子氏（英文学）・篠塚英子氏（経済学）の3人のお茶大教員と、先に講演をされた小倉氏、コーディネーターの北村氏（読売新聞社）が並び、熱のこもった議論が展開されました。

※パネルディスカッション及び講演の詳細は後ほどブックレットに収録して出版いたします。皆様どうぞご購入ください。

資料展示・懇親会

お茶大所蔵の歴史的資料はフェスティバルの記念催事として当日だけ本館の一室で展示されました。250人以上が訪れ、普段目にすることのない美術品や資料は、貴重なものばかりで、歴史の深みと、往時の女子教育の期待を伝えて余りあるものでした。ガーデンパーティーは雨もようの天候のため今年も屋内での開催となりました。科ごとのテーブルも用意されて、古瀬奈津子氏の司会、平野由紀子氏の音頭で乾杯。メニューは、久保田紀久枝氏が中心となって用意されました。子ども連れの参加者の姿も混じる楽しい語らいの場となりました。

実行委員会

フェスティバルの開催に当たっては山本秀行氏を委員長とする実行委員会が結成され、公務多忙な中、内容的に拡大したフェスティバルの開催を精力的に推進、運営しました。ご協力下さったボランティアの皆さんに感謝！



貴重な資料に感嘆のため息



盛り上がる懇親会場



挨拶に立つ実行委員長山本氏、司会の古瀬奈津子氏

読売・お茶大 女性アカデミア21

「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル
—社会と文学に見る迷い・決断・戦略—

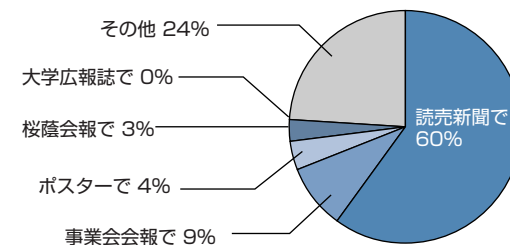
【プログラム】お茶の水女子大学講堂「微音堂」にて

13:00 基調講演 小倉千加子氏（評論家、心理学者）
14:30 パネルディスカッション
小倉千加子氏
竹村和子氏（お茶の水女子大学教授）
菅 聡子氏（お茶の水女子大学助教授）
篠塚英子氏（お茶の水女子大学教授）
コーディネーター 北村節子氏
（読売新聞調査研究本部主任研究員）
16:00 閉会

【アンケート結果より】（有効回答数153=回収率35%）

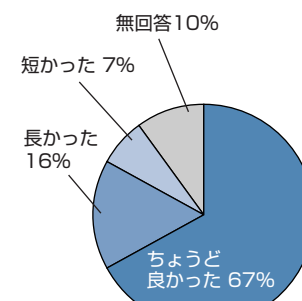
〈参加人数〉 第1部 講演会	530名（託児10名）
第2部 懇親会	91名
〈アフガンボランティアによる募金集め〉	51,045円 →UNESCOへ寄付
〈ボランティア数〉	101名

【1】「読売・お茶大 アカデミア21」をどのようにして
知りましたか。

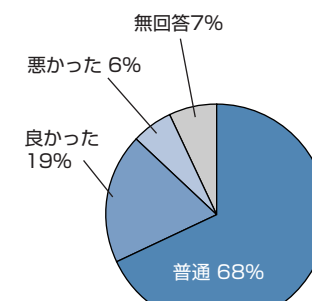


【2】なぜ参加しようと思いましたか。

- ・テーマに興味があった。（大多数）
- ・講演者やパネリストに興味があった。（多数）
- ・女性特有のジェンダー、フェミニズムが、自らの研究対象とリンクしていた。
- ・「お茶大」で開かれているから。
- ・テーマには関わりなく、自己啓発のため。
- ・母の勧め・友達の誘いがあった。（少数）



【3】時間の長さ



【4】運営について

【3】時間の長さはどうでしたか。

（グラフ参照）

【4】運営は適切に行われていましたか。

（グラフ参照）

【5】良かった点

- ・小倉さんの話し方のテンポが良く、内容も具体的でわかりやすかった。
- ・恋愛・結婚というテーマは女性の関心事であるし、身近な内容なので、考える機会を与えてくれた。
- ・文学という専門に基づく話が聞けた。
- ・先生方の視点の違いが面白かった。いろいろな角度から今回のテーマを考えることができた。
- ・現代女性の考え方、時代の流れを感じ取れた。
- ・第二部で、第一部の内容を再確認できた。

【6】改善点

- ・「結婚」を経済面から、「就労」を文学面から聞いてみたかった。
- ・パネリストの専門分野が偏っていた。
- ・司会進行がうまくいっていなかった。
- ・議論がかみ合っていないかった。
- ・社会・経済の中にある女性についての議論ができていなかった。
- ・心理学者の小倉さんと、文学研究が専門のパネリストとの組み合わせに無理があるのではないか。
- ・高齢者のことを考えて、もっとわかりやすい言葉や事例を用いたほうが良かった。
- ・結論を出すことが難しいテーマだった。
- ・小倉さんの話をもっと聞きたかった。

【7】意見・要望

- ・意見の対立するパネリストのほうが、議論に深みが出る。
- ・パネリストに男性・30代未婚の現役就労女性・他大学の先生方を交えたら盛り上がるのでは？
- ・会場の設備（音響設備）の不備が気になった。
- ・レジュメなど、資料が欲しかった。
- ・聞きに来られなかった人のために、読売新聞で報告してほしい。（2004年7月2日付朝刊に掲載済）
- ・高校生のチャリティコンサートが新鮮だった。

【8】次に期待する企画

- ・ぜひパート2を！
- ・既婚女性の仕事、育児、家庭の両立について。
- ・学術分野・経済分野での女性の就労。
- ・子育て後の女性の生き方。
- ・日本と海外の、女性の視点の違い。
- ・社会における女性の社会的・精神的地位の変遷。
- ・少年犯罪について。
- ・離婚・相続など、法律関係のこと。

就職ガイダンス／就職セミナーを開催

学生への就職支援として、お茶の水女子大学学生課と共催で就職ガイダンスと就職セミナーを行いました。



2004年7月7日、13時半から15時までお茶の水女子大学共通講義棟201号室で、就職ガイダンス（お茶の水女子大学学生課が開催している就職ガイダンスの第2回として）を行いました。これは、学生への支援事業の一つで、お茶の水女子大学学生課との共催事業です。



講師の河野真理子氏

講師には、株式会社キャリアネットワーク代表取締役会長の河野真理子氏をお招きしました。河野氏は内閣府男女共同参画会議、厚生労働省、文部科学省などの委員を数多く歴任し、女性のキャリアについてのオピニオンリーダーとして大変活躍なさっています。「就職から考えるこれからのキャリアデザイン®」と題して、「キャリアデザインとは何か」、「これから生きていく『21世紀』を熟知しよう」、「労働市場、労働環境を知ろう」、「就職を機会に今後の人生設計を考えよう」、「生涯キャリアの入り口としての就職活動について」など、体験談を交えてとてもきれいな声でわかりやすく話が進みました。そして、最後に「一人ひとりが日本社会における新しいロールモデルに」と学生へエールをおくってくださいました。180人ほど詰め掛けた学生からはとても好評で、アンケートには、

- ・就職活動というのはつらいイメージがあったが、明るくのりこえられそうだった。
- ・目先の就職についてばかり考えていたが、ライフデザインをともなったキャリアデザインを考えるという新しい発想に出会えて、とてもよかった。
- ・女性の話だけでなく、男性側の話も聞くことができとてもよかった。
- ・「考動力」を持った人間になりたいと思った。
- ・講師の河野氏がとても魅力的で、将来像のお手本となります。
- ・女性の場合は、出産というのが大きな出来事で、出産後も働き続けたいと思った。そのためにも、人生設計を考えておく重要性を認識できた。また、まわりの人の協力

も必要とわかった。などとありました。河野氏に魅力を感じた学生が大変多かったことが、印象的でした。



熱心に講演に聞き入る会場の様子

2004年7月31日、13時から17時半までお茶の水女子大学理学部3号館2階会議室において、就職セミナーを開催しました。このセミナーでは、キャリアデザインの考え方を通して、自己分析を行い、自分の強み・弱みを知り、何に重きを置いて職業・職種・企業を選択するか考え、これからの自分の可能性を探りました。17名の出席者が4グループにわかれて、河野真理子氏考案のキャリアノートに記入しながら、講師からの説明や、ディスカッションを通して、今までの自分をふりかえり、じっくりと自分と向きあい、将来像まで考えました。7月7日の講演会は話を聞くだけでしたが、こちらはその内容を自分のものとするためのものでした。キャリアノートへの記入やグループディスカッションのときには、各テーブルに3人の講師がまわり、効果的なアドバイスがありました。講師のかたの体験談を聞いたり、迷っているときにさりげなくアドバイスがあると、曇っていた視界がずっと晴れるように、自分のことをとてもクリアに客観的にみつめることができたことと好評でした。自分のことというのは、日々考えているようで、立ち止まってじっくりと考えることは実は少なく、このような機会はとても重要です。就職活動に際しても、エントリーシートの作成や面接において、自分の長所短所を、客観的にきちんと説明できる自信が付き、大変有意義な時間を過ごすことができましたと、受講生は大満足の様子でした。

[アンケートより]

- ・グループディスカッションで、人と話すことで自分の考えが整理できてよかった。
- ・様々な視点から考えることができ、また自分の課題が明確になってよかった。
- ・自分の軸をはっきりさせておけば、環境に流されないことがわかった。今後は、プライオリティを考えて行動したい。
- ・学生同士で真剣に話し合えて、良い刺激をうけた。
- ・講師の方々の経験談がとてもよかった。
- ・企業研究の重要性が痛感できた。

※受講料3千円のうち千円はお茶の水学術事業会が学生への支援事業として負担しました。

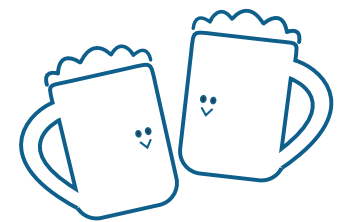


グループディスカッションでは3人の講師陣がアドバイス

メイン講師の土屋洋子氏

みんなで考える「人とお酒のイイ関係」

一般公開講座「みんなで考える『人とお酒のイイ関係』」をお茶の水女子大学公開日に行いました。



2004年7月19日海の日に行なわれた、お茶の水女子大学公開日に、一般公開講座「人とお酒のイイ関係」を開催しました。お茶の水女子大学、アサヒビール（株）、NPO法人環境ネットワーク・文京とお茶の水学術事業会の共催で行いました。主に、大学見学会へ参加した高校生を対象に、若者たちに正しい飲酒の知識をもってもらい、女性のアルコール問題は女性固有の問題も含んでいることを若い頃から男女ともに理解するように啓発することを目的としました。

プログラムは、(1) お酒に「強い」か「弱い」かエタノール・パッチテストにチャレンジしよう、(2) お酒に関するクイズ、(3) 先輩や大人からお酒の体験談を聞こう・お酒の良いところ悪いところ、と続きました。(1) のお酒を飲まなくても、お酒に強いか弱いかが判定できるパッチテストはとても好評でした。親子で大学見学会へ来訪するケースが多く、母親が娘に「大学へ入る前に自分の体質を知っておきなさい」と勤めている光景が多々見られました。でも、実は、母親自身が楽しんでいる様子でした！自分で認識し

ている強さとテストでの結果を較べたいと思うからでしょうか！！パッチテストだけでも受けられないかという方もいました。(2) のクイズでは、「ノンアルコールビールにアルコールは含まれていると思いますか」など5問が出されました(写真1)。(3) は、お茶の水女子大学理学部森義仁先生と3年生猪崎さんが体験談を語りました(写真2)。ちなみに森先生のパッチテストは真っ赤(お酒に弱い)で、猪崎さんは真っ白(お酒に強い)でした。お酒の良いところ悪いところは、ポストイットに記入してもらい、それらを分類して解説しました(表1)。参加者は114名でした。

大学・企業・NPOが協働することで、地域社会(市民)・産業界(企業)・行政・大学などがコミュニケーションを深めていくという、これからの社会のありかたの1つとして提示できればと考えています。このような、「協働」をこれからもお茶の水学術事業会として続けていく予定です。

第2弾を11月14日に微音祭(お茶の水女子大学学園祭)で行います。興味のあるかたは、是非お越しください。もちろん、エタノール・パッチテストもあります！！

お酒の良いと思うところ

- ・場が盛り上がる
- ・話題がはずむ
- ・本音が話せる
- ・陽気になれる
- ・仲良くなれる
- ・人と人をつなげる
- ・血行が良くなり体が温まる
- ・ストレス解消になる
- ・よく眠れる
- ・適量なら体にいい
- ・リフレッシュできる
- ・百薬の長と言われる
- ・地酒などで地方の良さを発見できる
- ・祭りや儀式に欠かせない

お酒の悪いと思うところ

- ・判断力が鈍る
- ・悪酔いする人がいる
- ・余計なことまで話してしまう
- ・確信のないことを言う
- ・妙なテンションになる
- ・気分が悪くなる
- ・二日酔いになる
- ・度を越した飲酒は肝臓疾患の原因となる
- ・眠くなる
- ・アルコール中毒(依存症)になる恐れがある
- ・お金がかかる
- ・飲酒運転をする人がいる
- ・妊婦の飲酒は胎児に悪影響

表1 お酒の良いと思うところ、悪いと思うところ



写真1 お酒に関するクイズに答える参加者



写真2 体験談を語る森義仁先生と3年生の猪崎さん

インターンシップのお茶大生も企画に参加！

「人とお酒のイイ関係」第2弾を2004年11月14日に開催！参加方法は7ページをご覧ください。

お茶の水女子大学の全学共通科目コミュニティ・ボランティアコースを選択し、環境ネットワーク・文京でインターンシップを行なっている学生も企画側として参加しました。全学共通科目コミュニティ・ボランティアコースとは、1年生から4年生までの誰でも履修できる選択科目群で、NPOインターンシップをすることが必須です。大学・地域・企業とのコラボレーションのあり方について実践的に学んでいます。

お茶の水女子大学 イベント情報

2004年10月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2004年10月23日(土) 14:00~16:00	東洋音楽学会第55回大会 公開講演会および演奏 「アジア音楽の伝統と現代」 講演1「薬師寺最勝会の復興—総合芸術としての儀礼と音楽」 澤田篤子(洗足学園大学教授) 講演2「現代の作曲と『伝統』」 近藤譲(お茶の水女子大学教授、作曲家) ピアノ演奏「内側と外側から見たジャワと中国」 小坂圭太(お茶の水女子大学助教授)	無料	主催:東洋音楽学会 助成:お茶の水学術事業会 会場:お茶の水女子大学講堂 〈お問合せ〉永原研究 nagahara@li.ocha.ac.jp *参加申込は不要です。
2004年10月8日(金) 18:30~20:00	第7回 お茶の水学術サロン 講師:筑紫みすえ氏(株)グッドバンカー社長 演題:未定	無料	主催:お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 〈参加申込〉lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp
2004年11月6日,13日, 20日,27日 13:30~15:00	平成16年度お茶の水女子大学公開講座 「文学の森を歩く—日本文学をあなたと—」	6,200円	お茶の水女子大学 企画広報課 HP http://www.ocha.ac.jp/koukai/ TEL 03-5978-5105
2004年11月11日(木) 18:30~20:00	第8回 お茶の水学術サロン 講師:中西準子氏 元横浜国立大学教授 (独)産業技術総合研究所 化学物質リスク管理センター長 演題:未定	無料	主催:お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 〈参加申込〉lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp
2004年11月14日(日) 13:30~15:30	第5回生命科学フォーラム 「法人化後のお茶の水女子大学—理系の立場から—」 講師:室伏さみ子氏(お茶の水女子大学理事/副学長) 「言語と意識の起源—ネアンデルタールのアイデンティティを探る—」 講師:内田伸子氏(お茶の水女子大学文教育学部長 21世紀COEプログラム「誕生から死までの人間発達科学」拠点リーダー)	無料	参加申込:理学部生命科学フォーラム実行委員会 加藤美砂子 mkato@cc.ocha.ac.jp TEL 03-5978-5293
2005年1月下旬	第9回 お茶の水学術サロン 講師:佐野真理子氏(主婦連合会事務局長) 演題:未定	無料	主催:お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 〈参加申込〉lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp



切支丹屋敷石碑

cha cha cha 茶・茶・茶 お茶大再発見!

科学史散歩1 ~永井荷風と西洋紀聞~

今回より、連続エッセイが始まります。お茶の水女子大学とその周辺にまつわるエピソードや歴史に埋もれたスポットをめぐる散歩をお楽しみください。

お茶大の歴史は100年を越える。所在地は首都東京で、御茶ノ水、そして今は大塚にある。そこには隠れた人間模様があるに違いない。「何かの縁でお茶大生として過ごすことになったのだから、楽しまない」とね。この某名譽教授の言葉により始まった、某学生たちの科学史散歩を垣間見た話をしよう(☺ 筆者は森のくまさんのような先生です)。多少こじつけのような気もするが、とにかくお茶大が出发点である。今回は附属幼稚園出身の永井荷風先生—ついでにそのお父上は東京女子師範学校の教員—。荷風先生は大正三年に「日和下駄」を著す。小石川界隈の気ままな散歩である。しかし、ただの散歩ではない。坂や崖にさえも

想いを馳せるのである。大正三年の東京の地図を手に、私たちがタイムスリップしよう。荷風先生は坂を上りそして下る。江戸川橋付近から見える「大塚弾薬庫」。これは現在のお茶大のある場所。茗荷谷の東には「切支丹坂」。この坂には「切支丹屋敷」があり、鎖国政策中の日本に来る切支丹宣教師の事情聴取をしていた。1709年、イタリア人宣教師シドッチが取り調べを受ける。取調官は新井白石。本来、布教活動の調査(尋問)なのだが、碩学の白石はついでに西洋の社会事情まで聞き取ることに成功する。それが世に現われる「西洋紀聞」である。現代科学の基礎となる西洋学術思想の日本人による本がここに初めて登場するのである。



切支丹坂

「お茶大ゴーフル」好評発売中

「お茶大ゴーフル」はご賞味いただけましたでしょうか? お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局までお申込みください。



ばいら・ちょこいちご
各4枚入
600円(税込)

通信販売いたします ※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXでどうぞ!

E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX: 03-5976-1478

ご寄付のお礼

会員およびご寄付をくださった皆さま、いつもご支援をいただき誠にありがとうございます。この度、高額なご寄付がありましたので、ここにご報告申し上げます。

社団法人桜蔭会 東京支部 100万円

講師斡旋について

講演会やセミナーの講師の斡旋を行っております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



国際婦人教育振興会にて藤枝修子氏(アフガニスタン担当特任教授)が講演

徽音祭と「人と酒のイイ関係」

2004年11月13日(土)14日(日)、お茶の水女子大学の学園祭である「徽音祭」が開催されます。7月の一般公開講座でご好評いただいた「人と酒のイイ関係」を徽音祭の当日開催しますので、参加ご希望の方は、11月14日(日)13時に野外特設ステージに集合してください。お酒に強いかわいかわかるパッチテストや、クイズ大会もあります。参加者(先着200名)に参加賞もあります!

平成16年度お茶の水学術事業会総会を開催

お茶の水学術事業会総会を6月12日に開催しました。平成15年度の事業報告と収支決算、平成16年度の事業計画と収支予算について承認されました。詳しくはホームページをご覧ください。

お知らせ

お茶の水ブックレット

- 第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」
 - 第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」
 - 第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」
 - 第4号「生命科学フォーラム」
 - 第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」(仮称)
- 1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけますので、メール・電話・FAXでご注文ください。
TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org

助成事業について

社会教育の推進、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成を推進することを目的とした助成事業を行っています。助成を受けたい方は、受付期間(次回は平成16年12月22日締切り)に申請してください。募集要項は事務局にご請求ください。

投稿募集

(1) 社会教育の推進 (2) 男女共同参画社会の形成 (3) 子どもの健全育成について、あなたの意見を投稿してください。原稿は郵便またはFAXで、連絡先を明記して事務局へお送りください。

お茶の水学術事業会 入会要項 あなたの社会貢献の第一歩としてぜひご入会ください!

■入会資格 趣旨にご賛同くださる方なら、どなたでも入会できます。

■入会方法 郵便局の払込取扱票にお名前・住所・電話番号、通信欄に必要事項(会員区分/生年月日/会費口数/メール/FAX)をご記入の上、今年度分の会費をお支払いください。入会受付後、1ヶ月以内に会報のお届けと会員番号のお知らせをいたします。

【郵便】00100-3-583029

特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会

※払込手数料は各自でご負担ください。

※ホームページからお申込みいただく場合は、払込取扱票の通信欄にはご記入なさらないでください。

■会員区分 正会員 個人賛助会員 法人賛助会員

※正会員には議決権があり、毎年の総会にご出席いただけます。欠席の場合には、委任状を提出していただけます。個人賛助会員・法人賛助会員には、議決権がありません。

■会費 個人 1口 6,000円/年
※できるだけ2口(年12,000円)以上お願いします。
※70歳以上の方は一括5万円(終身会費)の納入も承ります。
法人 1口 30,000円/年

■その他

・ご寄付も随時受け付けております(金額自由)。

・会員と寄付者に感謝の意を込めて、会報やホームページにお名前を掲載させていただきます。匿名希望の方または金額の掲載を希望されない方は、その旨を通信欄にお書き添えください。

※匿名希望の有無にかかわらず、会員名簿を配布したり、住所などの個人情報提供を外部に提供することは一切ありませんので、ご安心ください。

■お問合せ お茶の水学術事業会 事務局

TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org